

## ロボテック戦略月次レター（2022年3月の振り返り）

# 高まるインフレ圧力

ウクライナ紛争で地政学リスクとエネルギー価格上昇が継続、賃金上昇圧力と人手不足が自動化の需要喚起へ

3月の世界株式市場（MSCI ACWI、米ドルベース）は、前半は下落基調でしたが、後半に反発し、月間では上昇となりました。ロボテック戦略も、主として米国や日本の保有銘柄の株価上昇がプラス寄与となり上昇しましたが、市場全体を下回るパフォーマンスとなりました。当戦略の投資対象ではないエネルギーおよび素材セクターのパフォーマンスが高かったことが背景にあります。



インフレ圧力やサプライチェーン問題により労働力不足や賃金上昇が顕著になっており、自動化需要を高めています。

ウクライナ紛争が続く中、地政学リスクとエネルギー価格の高騰が引き続き市場センチメントを支配しました。主要国は協調してロシアに対して大規模な経済制裁を課しているため、原材料などの投入コスト上昇を招き、紛争前から既に混乱していたサプライチェーン問題のさらなる悪化やインフレ圧力の高まりをもたらしました。米連邦準備制度理事会(FRB)は当月0.25%の利上げを実施し、コロナ禍で大幅に引き下げた政策金利を正常化させるプロセスを開始しました。

ウクライナ紛争の影響でエネルギーや原料価格が上昇したことにより、インフレ圧力は過去数ヶ月にわたって上昇を続けています。製造業企業にとって厳しい環境となっており、これらのコスト上昇分を自社で吸収するか、製品価格に転嫁するか、あるいはその両方の組み合わせとするかの必要性に迫られています。さらに紛争の影響はサプライチェーン問題にも影を落としています。インフレ圧力やサプライチェーン問題は引き続き企業の運営に重くのしかかり、また一部の国や地域における労働力不足も賃金上昇圧力となると予想しています。このような状況は、労働力不足や賃金上昇を解決する一手として自動化を導入する機会を提供しており、この問題が続く限り自動化の需要を高める原動力となると見えています。

## ポートフォリオの動向

当月はヘルスケア関連銘柄が前月に続き堅調なパフォーマンスとなりました。糖尿病患者向け血糖値常時モニタリングシステム大手のデクスコム、尿失禁治療に用いられる仙骨神経刺激装置を開発する米国のアクソニクスなどがプラス寄与となりました。また、2月に新規に組入れた米国のソフトウェア企業ベントレー・システムズも組入れ開始以降、堅調なパフォーマンスを続けています。ベントレーは、インフラ資産の設計、建設、管理をサポートする統合型ソフトウェアを提供しています。

半導体企業のアンバレラは月の前半に軟調なパフォーマンスとなりました。同社はサムスンに生産委託している製品の供給問題から向こう2四半期の業績が当初予想よりも悪くなるとの見通しを示しました。アンバレラに限らず、半導体メーカー各社は需要に応えるだけの十分な生産能力を確保するのに苦労しています。その結果として売上が目標に達しないことは残念ではあるものの、同社製品への強い需要が続いていることは心強いと言えます。

また、自動車部品メーカーのアプティブもマイナス寄与となりました。同社はウクライナに製造拠点があり、製品の納入に影響を受けています。しかし、同社は紛争の影響を受けない他拠点到生産を移転する努力を続けており、いずれ影響は軽減されるものと見えています。また、倉庫自動化ソリューションやフォークリフトを製造するドイツのKIONグループはサプライチェーンの混乱や原料コスト上昇への懸念から株価が弱含みマイナス寄与となりました。

なお当月は、糖尿病患者向けインスリンポンプを製造するタンデム・ダイアベティス・ケアを新規に組入れました。当戦略で長年にわたって組入れている同分野のデクスコムを補完する狙いがあります。糖尿病の常時モニタリングや血糖値管理においてテクノロジーが果たす役割は大きく、両社はこの分野において優位な立場にあると見えています。

## ディスクレーム

### アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2021年12月末時点で約8,870億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、2021年12月末時点で5,630億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

2021年12月末時点で、アクサIMは18カ国28拠点において2,400名超の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

### 投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

#### 【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-25013